

今月の一言 NO.223

キーワード：計画

計画どおりに事がいかない場合に、二つの考え方がある。その一つは、「だから計画を立ててもダメだ」という考え方であり、もう一つは、「計画どおりいかないのはなぜか、どうしたら計画どおりいくか」というものだ。前者は、「障害があるからできない」という消極主義者であり、後者は、「障害をつぶすにはどうしたらいいか」という積極主義者である。

このどちらかを選ぶかで、行動は180度違ってくる。そして結果も。

世の中に障害のない仕事はない。また、その障害をそのまま計算の中に入れて立てた計画なんて意味がない。そんな計画を立てて「計画を完遂した」と満足するやつはアホだ。

数々の障害を克服して達成するところに生きがいがあり、向上があるのだ。

たとえ、計画どおりいかななくても、計画を放棄したらダメである。あくまでもこれにかじりつき、やりぬく執念が大切である。

計画品質が達成できなくとも、あきらめてはいけない。あくまでもねばることである。ねばりぬいたその末には、きっと好結果がえられるのだ。

計画された原価まで、なかなか下がらなくても、あけても暮れても努力していれば、必ず達成できる。

障害を並べたてるのは、できない言い訳のためではなくて、これをつぶすためである。計画を達成するためである。

著書：マネージメントへの挑戦 著者：一倉 さだむ 定

コツコツ努力

令和2年7月22日

さいのう とおる

追伸：終息が見えない、新型コロナウイルス。新しモノサシをあててみよう！